

セミナー2  
オペラの演出

オペラ歌手は役を歌う人。  
指揮者は  
歌手や合唱、オーケストラと共に  
音楽を創造する人。  
では、  
オペラ演出家は  
何をやる人？

オペラ公演の幕が上がり、  
舞台装置の中で  
出演者が衣裳を着けて演じるドラマ。  
演出家は

このドラマを創造します。

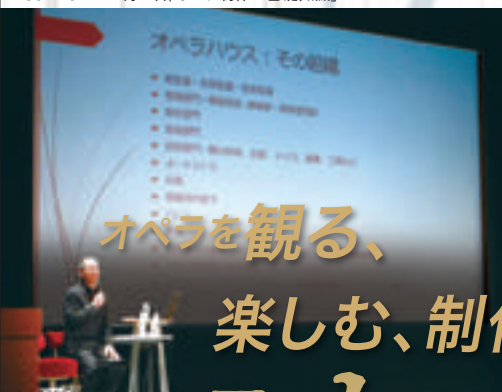
今回は、演出家の仕事を分かり易く  
ご紹介します。

講師 高島 勲

演出家・プロデューサー  
元・日生劇場芸術参与



Seminar 1: 4月17日「オペラ制作の基礎知識」



島根県舞台技術研修会は、これまで、劇場の舞台技術者向けに開催してきました。今年度は、「オペラセミナー」として一般の方も対象にオペラについて学ぶ機会としました。多くの方のご来場をお待ちしています。

Takashima Isao

1952年長野県生まれ。駒澤大学経済学部卒。1979年渡独。ミュンヘン大学を経てウィーン大学演劇学科卒業(修士終了)。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ミュンヘン州立歌劇場、ケルン市立歌劇場などで照明スタッフ、舞台監督、演出助手などとして研鑽を積む。鈴木敬介、江守徹、市川猿之助、蛸川幸雄、H・ミュラー、M・ハンベ、A・エヴァーディング、浅利慶太郎氏のアシスタントを務める。五島記念文化財団第二回オペラ新人賞、ローム音楽財団の助成を得てヨーロッパ各地で研修。94年、日生劇場『魔弾の射手』によりオペラ演出デビュー。NHK交響楽団「火刑台上のジャンヌ・ダルク」、『囚われ人/レクイエム』、読売日本交響楽団創立40周年記念「バルジファル」。愛知県芸術劇場開場10周年記念「仮面舞踏会」、東京シティ・フィル「ニーベルングの指環」、彩の国さいたま芸術劇場「トゥーランドット」「イル・トラヴァーレ」、日生劇場「後宮よりの逃走」、「利口な女狐の物語」(佐川吉男音楽賞受賞)、音楽ドラマ「チャイコフスキー」、「魔笛」(オルフェオとエウリディーチェ)等を演出、フランス、スペイン、チリなどでも演出している。新国立劇場海外調査員、専門嘱託、彩の国さいたま芸術劇場参与を経て、日生劇場評議員、2001年以降同芸術参与。多くのオペラやバレエ作品の制作を手掛け、2017年11月末、日生劇場を退職。オペラやミュージカルなどの国際的コーディネーター多数。東京芸術大学、フェリス学院大学非常勤講師。

「オペラセミナー」(全3回)

Seminar 2

「オペラの演出」

2018年 10/29(月) 午後6時～8時30分(予定)  
\*開場:午後5時

◎島根県民会館 中ホール <入場料>500円 \*当日受付にてお支払いください。\*事前の申込みは不要です。

講師 高島 勲 (演出家・プロデューサー、元・日生劇場芸術参与)

友情出演 朝枝 信彦 (松江クラシックス音楽祭音楽監督、元マンハイム国立劇場管弦楽団コンサートマスター)  
〔演奏〕◇ヴァイオリン 朝枝 信彦 ◇ピアノ カイ・アドマイト

セミナー2回目は「オペラの演出」。今回も資料と映像を交えながら、時代における演出方法の違い、演出家の具体的な仕事内容・手法など、演出からオペラについて学びます。分かりやすくテンポのよい高島氏の講義、ぜひご参加お待ちしております。

\*専門知識はいりません。オペラに関心のある方ならどなたでも参加OK!

【主催】(公財)しまね文化振興財団(島根県民会館)・松江クラシックス音楽祭実行委員会

\*お問い合わせ: 島根県民会館 TEL.0852-22-5510 島根県松江市殿町158

